



(PR)

腰痛との新しいお付き合い、 「腰とも」プログラムではじめませんか？

こんなお困りごとはありませんか？

「病院に行っても腰痛の原因がわからない」「腰痛で仕事や家事、趣味ができなくなった」
「一日中、腰痛のことばかり考えている」「腰痛さえなければ動けるのに…」

そんな方の腰痛には、心理的な要因が関係しているかもしれません。腰痛には、身体的な要因だけでなく、**心理的な要因**が密接に関わっていることが、近年の科学的な研究を通して明らかになってきています。同志社大学心理臨床センターでは、腰痛への効果が認められている**新世代の認知行動療法**に基づいて、腰と「とも」に生き活きとした生活を送るための**「腰とも（こしとも）」プログラム**を行っています。



面接は個別形式（**二回五十分**）。対象年齢は**二十〜六十歳**。「腰とも」プログラム該当者の方の面接料金は無料です（資料代は三千五百円）。

お申し込み・お問い合わせは同志社大学心理臨床センターまで。お電話の際は、「腰とも（こしとも）」プログラムについてお伝えください。



同志社大学心理臨床センター TEL:075-251-3282

月曜日～金曜日 午前11時～午後6時半

※詳しくは右記Webにて ⇒ <http://pscenter.doshisha.ac.jp/>

京都市上京区新町今出川下ル徳大寺殿町345 継志館1階

